

患者の皆様へ

2025 年 7 月 23 日
救急科・集中治療部

現在、千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部では、「Capillary Refilling Time の定量測定」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2021 年 6 月～2025 年 7 月に当院救急科・集中治療部にて Capillary Refilling Time（毛細血管再充満時間、CRT）測定を受けられた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「Capillary Refilling Time の定量測定に関する研究」

2. 研究の意義・目的

CRT は、末梢の血流の状態を評価する指標の一つとされています。しかし、CRT は、測定者による誤差が出てしまうことが指摘されており、かつ正確なデータが少ない状態です。そこで当科では、CRT を簡便かつ定量的に測定可能な装置を開発し、その装置を用いて、実際に CRT とショックの関連があることを示すことがこの研究の目的です。

3. 研究の方法

2021 年 6 月～2025 年 7 月の間に、千葉大学医学部附属病院救急外来または集中治療室への入室患者さん、Medical Emergency Team（MET）要請患者さん、人工透析治療を受けられた患者さん、手術治療を受けられた患者さんの CRT および舌下の微小循環を測定し、診療録に記載されている血圧、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO2）、血液検査などとの関連を調べる。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータは共同研究機関の千葉大学フロンティア医工学センターと国立研究開発法人産業技術総合研究所へ送られ解析されます。対応表は、当科の研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

千葉大学 フロンティア医工学センター 中口 俊哉
国立研究開発法人産業技術総合研究所 篠崎 真良

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

本件のお問合せ先 : 救急科・集中治療部

医師 三輪 弥生

043-222-7171 内線 6365

: 千葉大学フロンティア医工学センター

教授 中口 俊哉

: 国立研究開発法人産業技術総合研究所

研究員 篠崎 真良

研究代表機関 : 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

研究代表者 : 中田 孝明

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。